



# インフルエンザの 予防接種を受けましょう！

監修

財団法人神奈川県警友会けいゆう病院

小児科 菅谷 憲夫 先生



●インフルエンザワクチンの接種をご希望の方は、  
当院窓口でお申し込みください。

## かぜとインフルエンザの違い

普通のかぜは、鼻水、くしゃみ、せき、微熱などが症状の中心です。一方、インフルエンザではかぜの呼吸器症状（のどの痛みやせきなど）に加えて、38度以上の突然の高熱、筋肉・関節痛、悪寒、全身のだるさなどの症状が強くあらわれます。また、気管支炎や肺炎などを併発し、重症化することもあります。



## インフルエンザを軽くみても危険です！

毎年、数千人から数万人の方がインフルエンザが原因となって亡くなっています。高齢者の方や呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病などの基礎疾患をお持ちの方がインフルエンザに感染すると、入院が必要となったり、最悪の場合は死に至ることがあります。また、小児ではインフルエンザに合併して急性脳症が起こることがあり、死亡や後遺症など、深刻な問題になっています。



## インフルエンザの予防接種を受けましょう！

インフルエンザは、流行に伴う個人的・社会的損失がたいへん大きく、十分な警戒が必要な疾患です。予防接種を行うことで、インフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にとどめることが期待できます。積極的にインフルエンザワクチンを受け、感染を予防しましょう。



## 合併症を起こすリスクの高い方は積極的に予防接種を受けてください

### ● 65歳以上の方

（勤奨接種として国がワクチン接種をすすめています。市区町村など地方公共団体から補助が受けられる場合がありますのでご相談ください。）

- 老人施設入居者
- 気管支喘息などの呼吸器疾患、慢性心不全、代謝性疾患（糖尿病含む）、免疫不全、腎不全などの基礎疾患を有する成人および小児

ご家族や職場などにハイリスク者がいる方は、ハイリスク者にインフルエンザをうつす可能性があるため、ワクチン接種が望まれます。

## 日常生活におけるインフルエンザの予防法



帰宅時はもちろん、  
1日に数回、  
手洗い、うがいをする



室内では  
加湿器などを使い、  
適度な湿度を保つ



規則正しい生活を心がけ、  
十分な休養と睡眠をとる



バランスの良い食事を  
心がけ、十分な栄養を摂る

## 予防接種を受けるときの注意点

- インフルエンザワクチンの必要性や副反応について不明な点がある場合は、予防接種を受ける前に医師と十分相談しましょう。
- 受ける前日は入浴（またはシャワー）をして、体と着衣を清潔にしておきましょう。
- 当日は体調をよく観察して、普段と変わったところがないことを確認してください。
- 予診票は医師に対する大切な情報です。正確に記入してください。
- 予防接種を受ける方がお子さんの場合、母子手帳を持っていきましょう。

## 予防接種を受けることができない方

- 発熱のある方（37.5℃以上）
- 重篤な急性疾患にかかっている方
- 過去にインフルエンザワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある方（他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある方は、予防接種を受ける前に医師にその旨を伝え、指示を受けてください）
- その他、医師が予防接種を受けることを不相当と判断した方

あなたの接種予定日

\_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日（ \_\_\_\_\_ ）です  
当日は受付に

\_\_\_\_\_時 \_\_\_\_\_分頃おこしてください

医療機関名



田辺三菱製薬

5IN-303D-  
2010年9月作成